

—きっかけは自社オフィスの移転。新しい職場に設置する掛け時計を探していて、あれでもない、これでもない…と探すこと数日。

所詮はオフィス。誰も見やすく、時間が分かればいい。でも、やっぱり長時間過ごす場所。インテリアがカッコいいと、見るたびにいい気分になるし、モチベーションも上がるはず。

…気に入ったものがないなら、自分で作ってしまえばいい！ということで、デザイナー自ら設計&デザインしちゃいました。

目指したのは、アートポスターのように飾ることができる壁掛け時計。紙の時計はとにかく軽く、仮に落ちてきて体に当たってもけがの心配が少ないし、壊れにくいのがポイント。

印刷用紙は、厚みがあってパッケージなどにも使える「TANT BOARD」をチョイス。オレンジ色の紙にリッチブラックを着色し、さらにその上に疑似エンボスを加工することで、まるでスチールのような質感を演出。一見すると、とても紙とは思えない高級感。カットした断面にオレンジの地色が見え隠れするのもまたいい！

背面にムーブメントを取り付けるため、側面から見えないう、立体に成形。身の回りにある箱やパッケージを解体して、折り方などの構造を調べて試行錯誤の末、ようやく求めている形にたどりつきました。

実際に壁に掛けてみると、切り絵のように切り込みを入れた部分に窓から差し込む光が当たり、その角度によって、朝方、昼間、夕刻と壁に写る影の形や長さが刻一刻と変わっていくのも見どころです。

光と影もデザインの一つ。「紙でもできることって、実はまだまだたくさんある」と、1人でも多くの人に感じてもらうことを願っています。



▲時間とともに変化する影の形



▲断面は用紙の地色（オレンジ色）

まるで1枚のアートポスター！時間とともに変化する影の形にも注目

Vol.05 壁掛け時計



用紙：TANTO BOARD-F N55(オレンジ) <260.0 kg>

色数：6c/4c (4色リッチBLACK+ ハジキ+ ニスコーター/4色リッチBLACK)

加工：疑似エンボス加工 + カットングプロッター

印刷機械：B1判UVオフセット

他：色紙印刷・厚紙印刷